

各 位

東京都渋谷区渋谷三丁目 6 番地 6 号  
 株式会社駐車場総合研究所  
 代表取締役社長執行役員 柳瀬 聰  
 (コード番号: 3251)  
 問い合わせ先 執行役員経営管理部長 加藤 隆行  
 電話 03-3406-2477

### 平成 24 年 3 月期 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 5 月 13 日付「平成 23 年 3 月期決算短信」において発表いたしました平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

#### 1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想の修正(平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,106	72	68	37	520 円 05 銭
今回修正予想 (B)	2,205	59	57	25	3 円 44 銭
増減額 (B-A)	98	△13	△11	△12	
増減率 (%)	4.7	△18.9	△16.6	△33.8	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	1,908	62	67	35	482 円 12 銭

#### 2. 平成 24 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	4,680	161	152	83	1,155 円 66 銭
今回修正予想 (B)	4,641	130	129	56	7 円 71 銭
増減額 (B-A)	△38	△31	△23	△27	
増減率 (%)	△0.8	△19.6	△15.5	△33.3	
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	3,876	91	98	47	654 円 26 銭

(注) 当社は平成 23 年 10 月 1 日付で普通株式 1 株につき 100 株の株式分割を実施しており、平成 24 年 3 月期第 2 四半期及び通期の今回修正予想 1 株当たり当期純利益には当該株式分割の影響を反映しております。なお、平成 24 年 3 月期第 2 四半期の前回修正予想 1 株当たり四半期純利益には当該株式分割の影響を反映した場合には 5 円 07 銭となり、通期の前回修正予想 1 株当たり当期純利益に当該分割の影響を反映した場合には 11 円 56 銭となります。

#### 3. 修正の理由

##### (1) 第 2 四半期の業績予想について

第 2 四半期連結累計期間の日本国内の売上高におきましては、震災やその後の原発事故の影響にもかかわらず業績回復に向けた様々な施策の実施、積極的営業活動の展開による案件受注に努めてまいりました結果、日本国内の売上高は前回予想と比較し 118 百万円の増加見込みとなりました。

一方、中国における売上高におきましては、現時点ではコンサルティング案件の大型受注が続いておりますが、本年 1 月に受注したサブリース運営案件の立ち上がりが鈍く、売上高は 19 百万円の減少見込みとなりました。

以上により、全社売上高におきましては、前回予想 2,106 百万円に対し 2,205 百万円と 98 百万円の増加となる見込みであります。

日本国内の利益面におきましては、売上高の増加等に伴い前回予想と比較し経常利益が 5 百万円、四半期純利益が 0 百万円の増加見込みとなりました。

一方、中国における利益面におきましては、本年 1 月受注サブリース案件のオープンコストを 6 月ま

で吸収しきれず経常利益は 17 百万円、四半期純利益は 13 百万円の減少見込みとなりました。

以上により、全社利益面におきましては、経常利益が前回予想 68 百万円に対し 57 百万円と△11 百万円、四半期純利益が前回予想 37 百万円に対し 25 百万円と△12 百万円の差異となる見込みであります。

(2) 通期の業績予想について

今後、中国国内における車両の爆発的増加に伴い、数多くの駐車場整備が計画されている中国において急速に駐車場コンサルティングニーズが高まっております。そこで当社グループでは、政府や政府系の大手デベロッパーと提携することで中国国内での安定的基盤を構築する営業戦略を進めてきました。

その結果、中国国内で注目を集める天津環球金融中心「津門津塔」や「金融街・世紀中心」、南京市の「南京緑地中心紫峰ビル」等の大型複合商業施設の駐車場コンサルティングを受注するとともに、知名度と信用の向上に伴い、駐車場の管理運営案件の獲得に繋げてまいりました。【飛洲国際大廈停车场〈上海〉(232 台)・天津創新大廈停車場〈天津〉(810 台)】

然しながら、現時点において、中国における大型コンサルティング案件の 12 月末検収ベース計上期間に合わない見込みのため、第 2 四半期(累計)の業績予想の修正とともに、併せて上記のとおり修正いたします。

なお、個別の業績予想におきましては、順調に推移していることから、修正は行っておりません。

(注1) 第 2 四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の作成にあたっては、中国の連結子会社 3 社が平成 23 年 6 月 30 日現在で実施した決算に基づく財務諸表を使用し、通期の連結財務諸表の作成にあたっては、平成 23 年 12 月 31 日現在で実施する決算に基づく財務諸表を使用いたします。

(注2) 上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づくものであるため、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上